

平成28年度 職員提案審査会 審査結果

		①	②	③
		ウイテマテ(着衣泳)の定着化のためのウェルカムティーチャーター制度	BGMで来庁者への癒し提供と職員のモチベーションアップ	伊賀の交通の拠点を生かしたまちづくり
判定区分	実施・実施検討・研究課題・保留・実施困難・実施不適・実施済	実施検討	実施検討	保留
褒賞	最優秀・優秀・佳作	—	—	—
実施検討のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・着衣泳指導を公務として実施するか</li> <li>・実施の方法(全学校/希望する学校)</li> <li>・講師派遣側(消防)の実施体制</li> <li>・実施のルール(水質管理・時期)</li> <li>・実施場所(学校、B&amp;Gなど)</li> <li>・対象者(一般市民への啓発)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこで実施するか</li> <li>・実施する施設設備が整っているか(放送箇所)の分割が可能か</li> <li>・実施することで、本当に期待する効果が認められるのか</li> <li>・音源の費用(著作権)</li> <li>・実施に必要な設備の費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JRと伊賀鉄道の相互乗り入れの実現可能性</li> <li>・公共交通活性化への検討体制のあり方</li> </ul>
審査会コメント	判定区分に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施することによる効果は期待できる。</li> <li>・業務の一環として実施できるよう、実施の際の人員体制の整備について検討すること。(消防総務課)</li> <li>・依頼側、派遣側双方に窓口を設け、今後、希望する学校が問題なく実施できるよう、手続きや実施方法等について協議すること。(消防総務課、学校教育課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が多く訪れる部署において、既存設備を使用し実施できるか否か検討する。(各支所振興課、病院総務課)</li> <li>・実施に適切な音源について、その費用も含めて検討する。(管財課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部署を作らなくても、プロジェクトやタスクフォースの形でできる。</li> <li>・交通政策課を主体としながら、各課が交通を意識した施策をインプットしていくことは現在の組織体でも可能。</li> <li>・交通をみんなで考えるという考え方は必要。</li> </ul>
	褒賞に関して			
担当課		消防救急課 学校教育課	管財課 各支所振興課 病院総務課	

【総括】

・今回、新たに職員提案掲示板を構築し、他の職員等との意見交換を行う機会を設けたこともあり、例年に比べ、各提案とも検討の熟度が高く、また、審査会でのプレゼンテーションにも工夫が見られた。

・交通(特に鉄道)施策に関するアイデアが多く提案された。交通担当課だけでなく、多くの職員が地域公共交通に関する課題を認識している。

・各施策に基づく事業の実施にあたっては公共交通機関の利用を念頭おくことなど、地域公共交通の活性化と事業の推進の関連性を意識することが求められる。

		④	⑤	⑥
			伊賀鉄道公有民営化後の利用者増加策	柘植駅の転車台の復元
判定区分	実施・実施検討・研究課題・保留・実施困難・実施不適・実施済	実施検討	保留	実施検討
褒賞	最優秀・優秀・佳作	—	—	佳作
実施検討のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が、実際にどの程度増加するか(増収分(利用者純増)と減収分(必要経費)との損益分岐計算が必要)</li> <li>・利用者への還元の手法(フリー切符なのか、乗車券の割引なのか)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道遺産として価値がどの程度あるのか</li> <li>・実際に復元が可能なのか</li> <li>・利活用する際の、他資源との連動性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料化による影響や効果をどの範囲、どの視点から、どの程度見込むか</li> </ul>
審査会コメント	判定区分に関して	実現可能性について、損益分岐、利用者への最適な還元方法も含めて、伊賀鉄道と協議・検討する。(交通政策課)	観光資源として利活用できる可能性は認められるものの、現状地の調査や所有者であるJRへの意向の聞き取りなど、庁内での実施検討を進めるためには、事前の調査・研究がもう少し必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料化による効果を各駐車場の損益だけでなく、利用者の増加やそれによる駅周辺の活性化など副次的な部分も含めながら、実施に向け調査・検討する。</li> </ul>
	褒賞に関して			各駅の利用者数の推移、利用状況、鉄道料金と駐車料金を含めた費用計算など、近隣自治体との比較も交え、十分に調査・分析を行っており、提案に説得力がある。
	担当課	交通政策課		管財課 交通政策課 伊賀支所振興課 烏ヶ原支所振興課